

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 5 月 8 日 (2014.5.8)

【公開番号】特開 2012-216106 (P2012-216106A)
 【公開日】平成 24 年 11 月 8 日 (2012.11.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-046
 【出願番号】特願 2011-81473 (P2011-81473)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/21 5 7 0 L

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 3/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 26 日 (2014.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードを、所定の文字コードセットの文字コードに変換する第 1 のコード変換手段と、

前記汎用文字コードセットの文字コードを、記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する第 2 のコード変換手段と、

前記第 1 のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードが前記記録装置で対応可能か否かを判定し、対応可能でないと判定した場合に前記第 2 のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換し、変換した前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードを前記記録装置に出力する制御手段と、

を備えることを特徴とする記録制御装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記第 1 のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードに対応する前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードの有無を判定し、前記第 1 のコード変換手段により変換された前記所定の文字コードセットの文字コードに対応する前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードがない場合には前記第 2 のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する請求項 1 記載の記録制御装置。

【請求項 3】

前記第 1 のコード変換手段で変換される前記所定の文字コードセットの文字コードのうち、記録装置が対応していない文字コードセットの文字コードとの関係を示す設定データを記憶する記憶手段を備え、

前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された前記設定データに基づいて、前記第 1 のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードに対応する、前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードの有無を判定する請求項 2 記載の記録制

御装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードが前記第 1 のコード変換手段で前記所定の文字コードセットの文字コードに変換されない場合、前記第 2 のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する請求項 1 記載の記録制御装置。

【請求項 5】

前記所定の文字コードセットは、マルチバイトコードセットであり、
前記記録装置が対応する文字コードセットは、1 バイトコードセットである請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の記録制御装置。

【請求項 6】

文字コードセットの文字コードに対応するフォントデータを複数記憶し、前記フォントデータを使用して文字を記録する記録装置と、

記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードを所定の文字コードセットの文字コードに変換する第 1 のコード変換手段、前記汎用文字コードセットの文字コードを前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する第 2 のコード変換手段、前記第 1 のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードが前記記録装置で対応可能か否かを判定して対応可能でないと判定した場合に前記第 2 のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換して変換した前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードを前記記録装置に出力する制御手段と、

を備えることを特徴とする記録システム。

【請求項 7】

記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードを、所定の文字コードセットの文字コードに変換し、

変換された前記所定の文字コードセットの文字コードが記録装置で対応可能か否かを判定し、

対応可能でないと判定した場合に、前記汎用文字コードセットの文字コードを、記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換し、

変換した前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードを前記記録装置に出力することを特徴とする記録制御方法。

【請求項 8】

文字コードセットの文字コードに対応するフォントデータを複数記憶し、前記フォントデータを使用して文字を記録する記録装置の各部を制御する制御部により実行されるプログラムであって、

前記制御部を、

記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードを、所定の文字コードセットの文字コードに変換する第 1 のコード変換手段と、

前記汎用文字コードセットの文字コードを、記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する第 2 のコード変換手段と、

前記第 1 のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードが前記記録装置で対応可能か否かを判定し、対応可能でないと判定した場合に前記第 2 のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換し、変換した前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードを出力する制御手段として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

上記目的を達成するために、本発明は、記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードを、所定の文字コードセットの文字コードに変換する第1のコード変換手段と、前記汎用文字コードセットの文字コードを、記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する第2のコード変換手段と、前記第1のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードが前記記録装置で対応可能か否かを判定し、対応可能でないと判定した場合に前記第2のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換し、変換した前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードを前記記録装置に出力する制御手段と、を備えることを特徴とする。

本発明によれば、記録制御装置が所定の文字コードセットの文字コードに変換し、この文字コードに該当するフォントデータがない、または文字コードに対応していないなどで記録装置が記録を行えない場合に、記録装置が対応している別の文字コードセットの文字コードに変換して記録装置に出力するので、記録装置が内蔵するフォントデータに適した文字コードを用いて、記録対象データの文字を確実に記録できる。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

また、本発明は、上記記録制御装置において、前記制御手段は、前記第1のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードに対応する前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードの有無を判定し、前記第1のコード変換手段により変換された前記所定の文字コードセットの文字コードに対応する前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードがない場合には前記第2のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する。

本発明によれば、記録制御装置が所定の文字コードセットの文字コードを生成し、この文字コードに対応する文字コードを記録装置が持っていない場合に、別の文字コードセットの文字コードに変換して記録装置に出力するので、記録装置が内蔵するフォントデータに適した文字コードを用いて、記録対象データの文字を確実に記録できる。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

また、本発明は、上記記録制御装置において、前記第1のコード変換手段で変換される前記所定の文字コードセットの文字コードのうち、記録装置が対応していない文字コードセットの文字コードとの関係を示す設定データを記憶する記憶手段を備え、前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された前記設定データに基づいて、前記第1のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードに対応する、前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードの有無を判定する。

本発明によれば、第1のコード変換手段が変換した文字コードに記録装置が対応しているか否かを、より速やかに判定できる。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 8 】

また、本発明は、上記記録制御装置において、前記制御手段は、前記記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードが前記第１のコード変換手段で前記所定の文字コードセットの文字コードに変換されない場合、前記第２のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する。

本発明によれば、汎用文字コードセットの更新などにより文字数が増えたのも拘わらず第１のコード変換手段が対応していない場合、増えた文字の文字コードを、前記第２のコード変換手段により前記記録装置が対応する文字コードに変換することができる。

第１のコード変換手段がオペレーションシステムなどの機能を使っている場合、バージョンアップしていなく、汎用文字コードセットの更新に対応できていない場合がある。このような場合、第２のコード変換手段がプリンタードライバーであれば、プリンタードライバー側で汎用文字コードセットの更新に対応するようにバージョンアップすればよい。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

また、本発明は、上記記録制御装置において、前記所定の文字コードセットは、マルチバイトコードセットであり、前記記録装置が対応する文字コードセットは、１バイトコードセットである。

本発明によれば、マルチバイトコードセットの文字コードを記録装置が持たない場合に、第２のコード変換手段により１バイトコードセットで同じ文字を示す文字コードに変換して記録装置に出力するので、記録装置が、マルチバイトコードの一部の文字コードを他の文字コードセットの文字により置き換えている場合に、この記録装置に適合する文字コードを出力して記録を実行させることができる。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、上記目的を達成するために、本発明は、文字コードセットの文字コードに対応するフォントデータを複数記憶し、前記フォントデータを使用して文字を記録する記録装置と、記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードを所定の文字コードセットの文字コードに変換する第１のコード変換手段、前記汎用文字コードセットの文字コードを前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する第２のコード変換手段、前記第１のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードが前記記録装置で対応可能か否かを判定して対応可能でないと判定した場合に前記第２のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換して変換した前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードを前記記録装置に出力する制御手段と、を備えることを特徴とする。

本発明によれば、記録制御装置が所定の文字コードセットの文字コードを生成し、この文字コードに該当するフォントデータがない、または文字コードに対応していないなどで記録装置が記録を行えない場合に、記録装置が対応している別の文字コードセットの文字コードに変換して記録装置に出力するので、記録装置が内蔵するフォントデータに適した文字コードを用いて、記録対象データの文字を確実に記録できる。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また、上記目的を達成するために、本発明は、記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードを、所定の文字コードセットの文字コードに変換し、変換された前記所定の文字コードセットの文字コードが記録装置で対応可能か否かを判定し、対応可能でないと判定した場合に、前記汎用文字コードセットの文字コードを、記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換し、変換した前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードを前記記録装置に出力することを特徴とする。

本発明の記録制御方法を実行することにより、記録制御装置が所定の文字コードセットの文字コードを生成し、この文字コードに該当するフォントデータがない、または文字コードに対応していないなどで記録装置が記録を行えない場合に、記録装置が対応している別の文字コードセットの文字コードに変換して記録装置に出力するので、記録装置が内蔵するフォントデータに適した文字コードを用いて、記録対象データの文字を確実に記録できる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

上記目的を達成するために、本発明は、文字コードセットの文字コードに対応するフォントデータを複数記憶し、前記フォントデータを使用して文字を記録する記録装置の各部を制御する制御部により実行されるプログラムであって、前記制御部を、記録対象データに対応する汎用文字コードセットの文字コードを、所定の文字コードセットの文字コードに変換する第1のコード変換手段と、前記汎用文字コードセットの文字コードを、記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換する第2のコード変換手段と、前記第1のコード変換手段で変換された前記所定の文字コードセットの文字コードが前記記録装置で対応可能か否かを判定し、対応可能でないと判定した場合に前記第2のコード変換手段で前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードに変換し、変換した前記記録装置が対応する文字コードセットの文字コードを出力する制御手段として機能させることを特徴とする。

本発明のプログラムを制御部が実行することにより、記録制御装置が所定の文字コードセットの文字コードを生成し、この文字コードに該当するフォントデータがない、または文字コードに対応していないなどで記録装置が記録を行えない場合に、記録装置が対応している別の文字コードセットの文字コードに変換して記録装置に出力するので、記録装置が内蔵するフォントデータに適した文字コードを用いて、記録対象データの文字を確実に記録できる。